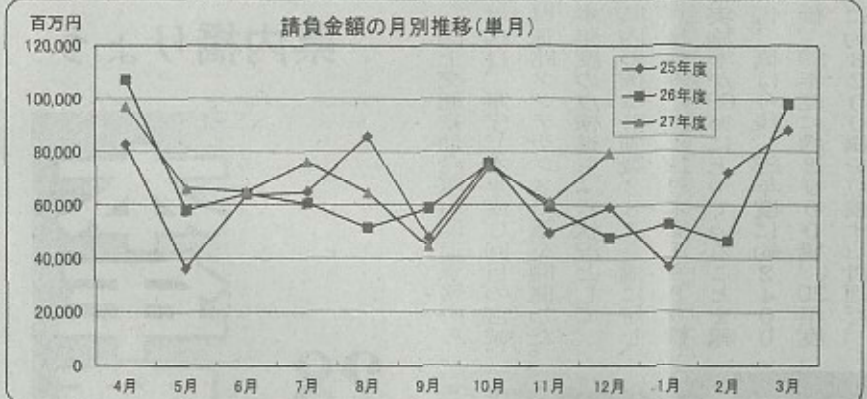


12月の公共工事動向

発注者	区分	当年度		前年度		対前年度増減		対前年度増減率(%)	
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国		22	7,853	10	1,382	12	6,470	120.0	468.0
独立行政法人等		13	25,497	9	5,177	4	20,320	44.4	392.5
県		150	21,998	150	18,762	0	3,236	0.0	17.3
市町村		420	22,035	427	21,952	▲7	82	▲1.6	0.4
地方公社		0	0	4	45	▲4	▲45		
その他		19	2,051	16	693	3	1,357	18.8	195.6
合計		624	79,436	616	48,014	8	31,422	1.3	65.4



東日本建設業保証(宮城支店)
12月の公共工事動向
東日本建設業保証(宮城支店)は、前払金保証をもとに各発注機関の発注件数や請負金額を推計した12月の「県内の公共工事動向」をまとめた(別表参照)。県全体の請負金額は前年実績の6割増しとなる79.4億3,600万円を記録し、4月の97.0億8,400万円に次いで本年度2番目の取扱高となった。

12月の発注件数は県全体で624件。前年同月比1.3%増(8件増)と、ほぼ前年度並みの水準だった。一方、請負金額は65.4%増(31.4億2,200万円増)となり、工事1件あたりの発注単価が大幅に増えたと見られる。例年の傾向では、12月は工事発注が少なく、請負金額も減少するが、ことしは発注ロットの大型化が請負金額の増加に影響したようだ。

請負額6割増しに
は同151.8倍の45億5,400万円(45億5,000万円増)と桁違いに増えた。国土交通省の取扱高も、発注件数が同80%増の9件4件増、請負金額は同2.1倍の24億3,600万円(12億5,900万円増)に伸びた。

UR都市再生機構などを含む独立行政法人の取扱高は、発注件数が同44.4%増の13件(4件増)、0万円を取り扱い、同21倍(4億6,000万円増)と飛躍した(発注件数は同2件増の3件)。

日本下水道事業団(JWS)などが増(4.49億7,600万円増)。請負金額のみ前年実績を上回っている。

本年度2番目の水準



大和町 南部コミセン 人口急増地の拠点着工

同センターは、平屋建て延べ2065㎡の規模で、バレーホール1面分の多目的ホールや、会議室、和室、調理室、図書室、行政窓口、情報展示コーナー、児童館としての遊戯室などを備える。

新築工事は、工期が12月20日までで、請負金額が7億6,248万円。新築設計・監理は楠山設計(東京都千代田区)が担当している。29年4月の開所を目指す。

建設地の杜の丘公益施設用地(杜の丘1-13)は面積が2万4,373㎡。同センター以外に、90台程度の駐車場や、多目的広場、延長120m程度の構内通路を整備する考えで、来年度に工事を発注する予定。

安全祈願
祭には、浅野町長をはじめとする町の職員、町議会の大須賀啓議長、楠山設計の島田俊雄代表取締役、

黒川郡大和町の南部コミュニティセンター(仮称)が新築着工を迎え、15日に施工者の日本建設(仙台支店・仙台市青葉区)が現地でも安全祈願祭を開いた。建設地の杜の丘1丁目付近は人口が急増している地区で、その拠点となる同センターについて浅野元大和町長は「中心地的な建物で(住民らの)期待も大きい。一日も早く素晴らしい施設を造ってほしい」と施工者らに呼び掛けた。

日本建設で安全祈願

同センターは、平屋建て延べ2065㎡の規模で、バレーホール1面分の多目的ホールや、会議室、和室、調理室、図書室、行政窓口、情報展示コーナー、児童館としての遊戯室などを備える。

新築工事は、工期が12月20日までで、請負金額が7億6,248万円。新築設計・監理は楠山設計(東京都千代田区)が担当している。29年4月の開所を目指す。

建設地の杜の丘公益施設用地(杜の丘1-13)は面積が2万4,373㎡。同センター以外に、90台程度の駐車場や、多目的広場、延長120m程度の構内通路を整備する考えで、来年度に工事を発注する予定。

安全祈願
祭には、浅野町長をはじめとする町の職員、町議会の大須賀啓議長、楠山設計の島田俊雄代表取締役、

名取市
名取市は、名取駅前地区の再開発事業などに伴う区域北側を通る市道原停車場線を改良する計画だ。狭い128m区間を拡幅し、交通量の増加や緊急車両の通行に対応させる考え。改良に向けた測量設計業務を28日指名競争入札を開け、同センターはSRC造S造、RC造の3種を組み合わせた難しい構造となる。地域密着型の施設を提供できるよう、無事故・無災害で完成させる」と誓った。

現場代理人
同センターはSRC造S造、RC造の3種を組み合わせた難しい構造となる。地域密着型の施設を提供できるよう、無事故・無災害で完成させる」と誓った。

業務名は「停車場線測量設計業務委託」。業務では、延長128mの路線測量と道路詳細設計、面積2733㎡の用地測量、面積256㎡の現地測量、建物などの物件調査算定をまとめる。

市道原停車場線は、増田4丁目を東西に横断する道路。西端が市道停車場田高線との交差点、東端が市道西線との交差点で延長が約170m。同線は、市道停車場田高線から40m程度までが幅員6mで、ここから市道西線までの128m区間が幅員3.4mと狭

名取市は、愛島台の土地活用について、公募型プロポーザル方式で事業者の選定を進めていたが、13日の参加表明書提出締め切りまでに申請者がなかったことを明らかにした。今後については未定で、公募にあたっての課題や再公募についてな

市道原停車場線を拡幅
設計が28日指名入札

量設計業務委託」。業務では、延長128mの路線測量と道路詳細設計、面積2733㎡の用地測量、面積256㎡の現地測量、建物などの物件調査算定をまとめる。

市道原停車場線は、増田4丁目を東西に横断する道路。西端が市道停車場田高線との交差点、東端が市道西線との交差点で延長が約170m。同線は、市道停車場田高線から40m程度までが幅員6mで、ここから市道西線までの128m区間が幅員3.4mと狭

名取市は、愛島台の土地活用について、公募型プロポーザル方式で事業者の選定を進めていたが、13日の参加表明書提出締め切りまでに申請者がなかったことを明らかにした。今後については未定で、公募にあたっての課題や再公募についてな

申請者なしで
愛島台造成地

名取市は、愛島台の土地活用について、公募型プロポーザル方式で事業者の選定を進めていたが、13日の参加表明書提出締め切りまでに申請者がなかったことを明らかにした。今後については未定で、公募にあたっての課題や再公募についてな

エグジビジョンテクノロジーズ
8月に災害対策展開催
出展者を募集中

1、止水板、洪水対策技術など、土砂災害対策(土砂・落石探知システム、対策技術・工法など)、落雷対策(避雷器、コンピューターバックアップシステムなど)、突風・竜巻対策(気象監視技術、警報システム、飛散防止フィルムなど)、火山対策(BCP、観測システム、機器など)などを想定。1ス(203・5775・2855)まで。

同展示会への出店は、ホームページ(http://www.shinsetsu.com)から申請書をダウンロードして申し込むこと。

ブースサイズは2×2mで装飾込み19万9000円(税抜)。装飾なしで17万円(税抜)となっている。

問い合わせなどは、エグジビジョンテクノロジーズ(203・5775・2855)まで。

高島興業
タカラスタンダード(本社・大阪府大阪市・渡辺岳夫社長)は、新事業としてロー内装材「エマウォール(Emawall)」を新発売し、内装市場へ進出した。これまで同社が水まわり製品で培ってきた技術を活かしながら、デザイン性を飛躍的に向上させた清潔性・耐久性・利便性に優れた壁材だ。住宅内の利用が期待できる。

新内装材のエマウォールには、同社独自の材質である「高品位ホーロー」を採用。丈夫な金属ペーシングに清潔なガラス質を850℃の高温で焼き